令和４（２０２２）年度　公益社団法人全国大学体育連合　事業報告

Ⅰ．概要（常務理事会活動）

コロナウイルス感染症は収束しない状況が続いたことで、本連合の諸活動も大きな影響を受けた。

具体的な本連合の諸活動の概要を以下にご報告させていただく。

常務理事会および理事会はすべて ZOOM によるオンライン形式により実施された。

表彰事業としては、3 件の研修精励賞が承認された。8 月に北海道札幌市で開催された体育指導者全国研修会では、カーリング・カヌー・ラフティング・リバーサップ等が展開された。なお、大体連 70 周年記念行事として「第 3 期スポーツ基本計画に基づく東京オリンピック・パラリンピック大会のスポーツ・レガシーの継承・発展について」という演題での記念講演、ならびに「大体連の研修活動の今後を考える」というテーマで 70 周年記念パネルディスカッションが開催された。

第 13 回大学体育指導者養成研修会は、2022 年 3 月に流通経済大学・龍ケ崎キャンパスで開催された。「体育実技をアクティブ・ラーニングに変えてみよう」、「大学体育における超人スポーツの可能性」という 2 つの新鮮で魅力的な２テーマの特別講演がなされた。

2022 年度は、2023 年度研究助成対象の 3 研究課題を決定し、2021 年度研究助成対象論文の投稿を確認した。

「大学体育スポーツ研究フォーラム」の運営および優秀発表賞の選出、論文誌「大学体育スポーツ学研究」の編集・発行および優秀論文集の選出、論文誌「大学体育スポーツ学研究第 19 巻」の冊子体の販売、論文誌「大学体育学 1-15 号」、「大学体育スポーツ学研究 16-19」の J―STAGE を公開した。

機関誌「大学体育」（119 号 120 号）の編集・発行を行うとともに、指導者養成研修会、総会、指導者全国研修会の取材を実施した。

本連合パンフレットのリニューアル、ホームページによる情報発信と管理、ホームページの管理・更新、メールニュースの定期的配信、新規会員開拓のための広報活動を積極的に行い、効率的でわかりやすい情報公開を実施した。

研修会事業として、「第 10 回スポーツ健康系学科長協議会」を開催、関連団体の情報収集と情報発信を実施するとともに、表彰制度事業の募集を実施した。

本連合 70 周年記念事業実行委員会を発足させ、具体的な記念事業として①記念誌発刊、②記念品の作成、③全国研修会の記念講演・パネルディスカッションを開催した。今後に向けて開催予定の総会後の記念子応援・祝賀会開催に向けて準備を進めている。

以　上

令和４（２０２２）年度　総務部事業報告

Ⅰ．事業報告

（１）表彰事業

１）大学体育教育賞候補者名簿の作成

（２）会議・運営に関わる事項

１）主な会議

①総会、理事会、常務理事会、支部長会

2 月 10 日（木）　第 1 回常務理事会（web・Zoom）

2 月 19 日（土）　第 1 回理事会,
第 1 回役員候補者推薦委員会（web・Zoom）

3 月 24 日（木）　通常総会

4 月 20 日（水）　第 2 回常務理事会（web・Zoom）

6月 9日（木）　第3回常務理事会（web・Zoom）
7月25日（月）　第4回常務理事会（web・Zoom）
9月29日（木）　第5回常務理事会（web・Zoom）
10月13日（木）　第6回常務理事会（web・Zoom）
10月22日（土）　支部長会（web・Zoom）
第2回役員候補者推薦委員会（web・Zoom）
第2回理事会（web・Zoom）
11月17日（木）　第7回常務理事会（web・Zoom）
12月16日（金）　第8回常務理事会（web・Zoom）
常務理事会メール審議
5月23～30日

②監査：総務部および監事
1月31日（月）：令和３年度収支決算監査

③部会
7月7日（木）　第1回（web・Zoom）
随時メール会議

２）各支部，部・委員会，プロジェクトチームとの連携
九州支部　9月16日（金）（web・Zoom）

（３）事業運営関係記録
1）内閣府への届け出：令和３年度事業報告(含む決算報告)，３月末日，
令和５年度事業計画(含む予算)，12月末日
2）事務所および事務の適正な運営
3）会計処理（税務処理を含む）の執行（公認会計士への支援を委託）公認会計士との打ち合わせ
：1月26日，10月20日
4）公認会計士契約更新
5）顧問弁護士契約更新
6）各部、各支部との連携
7）会員管理
8）定款および諸規則改正の検討
9）機関誌・報告書のバックナンバー管理
10）役員の管理（法務局への手続き等）
11）表彰（全国大学体育連合賞、大学体育教育賞）

（４）事務所の業務曜日等
◇ 業務曜日：月～金曜日（午前10時～午後4時）の5日間
◇ 職　　員：下野朋子（月～金）、重藤絵美（月、水、金）
※ 新型コロナウイルス感染症予防対策のため，業務に支障がない範囲で在宅勤務を導入

Ⅱ．構成員

部　長：重城　哲　（日本大学）
副部長：田畑　亨　（流通経済大学）
副部長：雪吹　誠　（目白大学）
委　員：高丸　功　（学習院大学）
委　員：福士　徳文　（慶應義塾大学）
委　員：山﨑　紀春　（日本大学）
委　員：田中　愛理　（東京家政大学）

以　上

令和４（２０２２）年度　研修部事業報告

Ⅱ-1　【公益目的事業】

（２）表彰事業　（事業種類 01）

研修精励賞の申請は下記の３件があり承認された。

①多賀　健（苫小牧工業高等専門学校准教授）

②髙瀬武志（桐蔭横浜大学准教授）

③浅井泰詞（高千穂大学助教）

研修精励特別賞の申請は無かった。

２．公２：大学教育及びその他の高等教育における体育・スポーツ、健康・保健教育に関する調査、研究等の資料や情報の収集とその成果を研究会や研修会、講習会、機関誌、情報誌により一般公衆に提供する事業

（２）研修会事業　（事業種類 09）

１）令和４年度大学体育指導者全国研修会の開催：研修部

・期　　日 ： 令和 4 年 2022 年 8 月 21 日（日）～ 8 月 24 日（水）（3 泊 4 日）

・場　　所 ： 北海道札幌市、他（札幌国際大学・〒004-8602 札幌市清田区清田 4 条 1 丁目 4-1）

・主　　催 ： 公益社団法人 全国大学体育連合

・主　　管 ： 公益社団法人 全国大学体育連合 北海道支部

・後　　援 ： スポーツ庁

・内　　容：

＜大体連 70 周年記念行事（会 場：札幌国際大学）＞

◆70 周年記念講演

・講 師：スポーツ庁政策課企画調整室長　日比謙一郎 氏

・演 題：「第 3 期スポーツ基本計画に基づく東京オリ・パラ大会のスポーツ・レガシーの継承・発展について」

◆70 周年記念パネルディスカッション

テーマ：「大体連の研修活動の今後を考える」

①報　告

演　題：「10 年間の研修活動を振り返って」

講　師：北　徹朗 研修部長

②パネルディスカッション・全体討論

演　題：「大体連研修会参加の経験とその後の活動への影響」

「コロナ禍の体育実技・今後の体育実技と大学体育指導者の育成について」

進行役　：村山 光義（将来構想委員長・慶應義塾大学教授）

パネラー：蔵満 保幸（北海道支部支部長・札幌国際大学学長／教授）

北　徹朗（研修部長・武蔵野美術大学教授）

髙瀬武志（2022 年度研修精励賞受賞・桐蔭横浜大学准教授）

＜実技研修・講師＞

カーリング

・講 師：小笠原　歩（JOC アシスタントナショナルコーチ）、青木　豪（札幌国際大学 大学院）、荻原功暉（札幌国際大学 大学院）、佐々木彩斗（札幌国際大学）、佐藤剣仁（札幌国際大学）新野和志（札幌国際大学）

・会　場：どうぎんカーリングスタジアム

ゴルフ

・講 師：内藤裕之（日本プロゴルフ協会）

・会 場：札幌リージェントゴルフ倶楽部

パークゴルフ

・講 師：坂井 康悦（北海道パークゴルフ協会 指導普及部部長）

会 場：輪厚国際パークゴルフコース

カヌー

・講 師：星 芳広（北海道レクリエーション協会 理事長）

・会 場：千歳美々川

ラフティング / リバーサップ

・講 師：高木 康之（NAC）

・会 場：NAC（ニセコ）

＜参加人数＞

・一般参加者：26 名

・講師、パネリスト：14 名

・北海道支部スタッフ：6 名

2）第 13 回大学体育指導者養成研修会の開催:研修部

・期　日：2022 年 3 月 6 日（日）～8 日（火）

・場　所：流通経済大学・龍ヶ崎キャンパス（〒301-0844 茨城県龍ケ崎市平畑 120）

・主　催：公益社団法人全国大学体育連合

・後　援：スポーツ庁

・内　容：

＜特別講演①＞

・演題：「体育実技をアクティブラーニングに変えてみよう!!」

・講師：伊藤雅充（日本体育大学体育学部教授）、黒岩　純（流通経済大学スポーツ健康科学部教授）

＜特別講演②＞

・演題：「大学体育における超人スポーツの可能性」

・講師：稲見昌彦（東京大学先端科学技術研究センター教授）

＜研修種目（講師）＞

・バスケットボール：川北準人（東京成徳大学教授）

・卓　球：葛西順一（早稲田大学教授）

・フライングディスク：村山光義（慶應義塾大学教授）

・レクリエーションスポ―ツ：片山昭義（浦和大学教授）

・ゴルフ：北徹朗（武蔵野美術大学教授）

＜体験種目（講師）＞

・ネットボール：飯田祥明（南山大学准教授）、多胡英子（日本ネットボール協会理事長）

・超人スポーツ：安藤良一（超人スポーツ協会）、稲見昌彦（東京大学教授）

＜参加人数＞

・４４名（講師・スタッフを除く）

3）研修会の実施に要する外部資金調達に関わる活動：研修部

日本スポーツ振興センターくじ助成金を獲得し、指導者養成研修会の運営に活用した。

構成員

部　長：北　徹朗（武蔵野美術大学）

委　員：難波秀行（日本大学）

委　員：橋口剛夫（帝京科学大学）

委　員：浅井泰詞（高千穂大学）

委　員：小谷　究（流通経済大学）

委　員：服部由季夫（星槎大学）

委　員：篠原康男（城西大学）

以　上

令和４（２０２２）年度　調査部事業報告

Ⅰ．事業報告

（１）研究助成 2023 年度研究助成の審査（一般課題 3 件）合計 583,000 円の助成の決定

①研究代表者：　勝亦陽一

研究題課　：　ベースボール型実技における事故・ヒヤリハットとリスク管理

②研究代表者：　藤田　勉

研究課題　　：AED 探索への主体的で対話的な動機づけを促す身体活動の実践的研究

③研究代表者：白井　祐介

研究課題　：　授業実施者の属性の相違が大学体育授業の教育効果に対する認識に及ぼす影響

（２）2023 年度研究助成についての HP への UP

（３）2021 年度研究助成者の論文投稿の確認

Ⅱ．今後の事業計画

（１）令和５年（2023 年）度研究助成審査結果に基づき、助成

（２）女性共同参画に関する調査

（３）2022 年度大学・短期大学保健体育教育実態調査

Ⅲ．構成員

部　長：白川　哉子（昭和女子大学）

副部長：竹市　　勝（国士舘大学）

委　員：高橋　　将（大東文化大学）

委　員：戸枝　美咲（日本女子大学）

委　員：長谷川千里（東京女子体育大学）

委　員：吉成　啓子（白百合女子大学）

以　上

令和４（２０２２）年度　研究部事業報告

Ⅰ．事業報告

１）研究集会『大学体育スポーツ研究フォーラム』の運営および優秀発表賞の選出

2022 年 3 月 3 日（木）に第 10 回フォーラムを，前年に引き続き Zoom によるオンラインにて開催。午前には北陸支部主催企画「大学体育で使える縄跳び運動」で 3 名の講師による話題提供，午後には一般発表 15 演題。参加者 111 名。ノミネート 5 演題を対象に審査の結果，前田奎氏（京都先端科学大学）を優秀発表賞に選出。

次回の第 11 回フォーラムは 2023 年 3 月 13-14 日（月火）に，九州産業大学での対面と Zoom によるオンラインのハイフレックス形式で，九州支部研究集会と合同で開催する。なお，新たな取り組みとして，次項の優秀論文賞受講者による「優秀論文賞受賞講演」をしていただく予定。また，大体連 70 周年記念企画として，「これまでの大体連と九体連の研究活動をふり返る：学生，大学，教員にとって魅力的な大学体育の再考」を予定している。

２）論文誌『大学体育スポーツ学研究』の編集・発行および優秀論文賞の選出

令和 4 年 3 月に第 19 巻を発行。論文 11 編（寄稿論文 1 編，総説 1 編，研究ノート 9 編），フォーラム報告，計 145 ページ。投稿規定を一部改訂：投稿時抄録は和文のみ（英文抄録は受理決定後の提出）も可に変更，抄録の和文字数と英文語数を縮小，図表デザインの指示の新設，原稿再提出期限の変更，査読回数の制限を明記，J-STAGE 公開を明記。現在，令和 5 年 3 月の第 20 巻発行に向けて，査読継続中。掲載決定の 6 編を大体連 HP で早期公開中。

優秀論文賞については，第 18 号（令和 3 年 3 月発行）掲載の寄稿論文・寄稿報告を除く 10 編を対象に，一次審査および二次審査を経て，小倉圭氏ほか（滋賀大学）を優秀論文賞に選出し。その選考経過および講評を

第19巻の巻末に記載。第19号（令和4年3月発行）掲載の　編を対象に，一次審査および二次審査を経て，寺岡英晋ほか（慶應義塾大学）を優秀論文賞に選出した。その選考経過および講評については第20巻の巻末掲載を予定。

３）論文誌『大学体育スポーツ学研究第19巻』の冊子体印刷販売の実施

2016年で最後となった論文誌印刷冊子体を希望者が購入できるシステムを整備し，2022年7月より開始。第19巻から誌面デザインを手がけた城島印刷に，印刷，受注，発送を業務委託。50冊の限定販売とし，販売期間を10月末までに限定。送料200円込み1,980円にて販売。→完売

４）論文誌『大学体育学1-15』『大学体育スポーツ学研究16-19』のJ-STAGE公開

「大学体育学1-15号(2004-2018)」「大学体育スポーツ学研究16-19号(2019-2022)」を9月よりJ-STAGE公開

５）研究部会の開催

・論文誌編集委員会（木内，西田，難波，園部，藤野，梶田）

メールとオンライン会議にて随時

議題：査読者推薦，査読依頼順決定，論文採否など

・フォーラム運営委員会幹事会（木内，田原，中山，藤野，梶田）

メールとオンライン会議，電話にて随時

議題：第11回フォーラムの九州支部研究集会との合同開催＠九州産業大2023.3/13-14に向けて

Ⅱ．構成員

部　長：木内敦詞（筑波大学）（論文誌編集幹事，フォーラム運営委員会幹事）
副部長：西田順一（近畿大学）（論文誌担当=論文誌編集委員長）
副部長：田原亮二（西南学院大学）（フォーラム担当=フォーラム運営委員長）
委　員：難波秀行（日本大学）（論文誌編集副委員長）
委　員:園部　豊(帝京平成大学)(論文誌編集副委員長)
委　員：飯田路佳（十文字学園女子大学）
委　員：梶田和宏（京都先端科学大学）
委　員：北　徹朗（武蔵野美術大学）
委　員：小林雄志（東京大学）
委　員：佐藤　和（千葉工業大学）
委　員：高田大輔（新潟医療福祉大学）
委　員：中田征克（防衛大学校）
委　員：中山正剛（スポーツ庁）
委　員：西垣景太（東海大学）
委　員：平工志穂（東京女子大学）
委　員：藤野和樹（千葉商科大学）
委　員：山本浩二（関西福祉大学）

以　上

令和４（２０２２）年度　編集・出版部事業報告

Ⅰ．事業報告

○定例部会　6回　（機関誌編集119・120号に関わる会議等）

○機関誌『大学体育』(119号6月、120号12月）編集・発行

取材・出張　（会議・編集に関わる記録作成など）

①指導者養成研修会：2022年3月6日（日）～8日（火）
場所：流通経済大学　龍ヶ崎キャンパス

②総会　：2022年3月24日（木）　オンラインにて実施

③指導者全国研修会：2022年8月21日（日）～ 24日（水）
場所：札幌国際大学、他

＊編集、改善に関わる通信連絡及び業務委託

Ⅱ．構成員

部　長　羽田　雄一　（学習院大学）
副部長　森　　健一　（武蔵大学）
委　員　園部　豊　　（帝京平成大学）
委　員　高橋　和将　（茨城キリスト教大学）

委　員　武田丈太郎　（北海道教育大学）　　委　員　夏原　隆之　（東京成徳大学）
委　員　中島　早苗　（共立女子短期大学）　　委　員　山田　盛朗　（東京都市大学）

以　上

令和４（２０２２）年度　広報部事業報告

Ⅰ．事業報告

１．パンフレットのリニューアル

２．ホームページによる情報発信と管理

ホームページの管理・更新

月別アクセス数

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
総数	8,645	8,092	9,715	5,887	6,731	9,555	8,760	9,146	7,364	7,881	8,605	7,987
前年	11,826	15,354	8,546	9,157	8,568	8,950	8,398	8,384	9,184	8,323	8,454	8,022

３．メールニュースの定期配信

配信 59 件、登録者数 798 人（12 月 31 日現在）

４．新規会員開拓のための広報活動

５．スポーツビジネス産業展出展　5 月 11 日(水)～5 月 13 日(金)

６．広報会議　数回

Ⅲ．構成員

部　長：平工　志穂（東京女子大学）　　委　員：井村　祥子（東京都立大学）
副部長：勝亦　陽一（東京農業大学）　　委　員：星野　映　（早稲田大学）

以　上

令和４（２０２２）年度　渉外部事業報告

Ⅰ．事業報告

（１）研修会事業

１）第 10 回スポーツ健康系学科長協議会

期日：令和４年７月１６日

会場：ハイフレックス会場　対面会場：TKP ガーデンシティ御茶ノ水

後援：スポーツ庁

内容：体育・スポーツ・健康系学科や課程が共通して抱えている課題を協議し、大学体育の発展に資することを目的とし、今回は、講演テーマは「大学入試とその広報戦略について考える」、協議テーマは「大学 入試とその広報戦略」及び「スポーツ・健康系学科の現状と課題」とした。

参加人数：27 名

（２）調査、資料収集事業

１）関連団体の情報収集と情報発信

①健康日本２１推進全国連絡協議会からの情報収集と情報発信

②スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアムからの情報収集とメールニュースによる情報発信

（３）表彰制度事業

１）FD 推進校表彰制度、大学体育優秀教員賞の募集

本年度の募集はともに０件であった。

（４）会議・運営に関わる事項

3 月 14 日（月）　部会　Zoom 会議

4 月 12 日（火）　部会　Zoom 会議

6 月 24 日（金）　部会　Zoom 会議

7 月 5 日（火）　部会　Zoom 会議

7 月 16 日（土）　部会　対面会議

※1 月～随時作業　スポーツ健康系学科設置校確認・調査

1 月～随時作業　スポーツ健康系学科設置校確認・調査

5 月～6 月、10 月～12 月随時作業　FD 推進校表彰制度、大学体育優秀教員賞

Ⅱ．今後の主たる事業計画

（１）研修会事業

１）第１１回スポーツ健康系学科長協議会開催準備

２）FD 推進校表彰制度、大学体育優秀教員賞関連の検討

（２）調査、資料収集事業

１）関連団体の情報収集と情報発信

（３）会議・運営に関わる事項

部会の開催

７０周年事業運営協力

Ⅲ．令和４年度の事業計画などに関する見通し

１）主な事業

（１）第１１回スポーツ健康系学科長協議会の開催（令和５年５～７月頃 予定）

（２）健康日本 21 推進全国連絡協議会総会の出席

（３）70 周年行事運営補助（運営委員懇親会開催運営）

（４）国内外関係団体との連携

（５）関係団体との協力や連携体制の検討

（６）FD 推進校表彰制度と大学体育優秀教員賞の検討

２）主な会議

部会　　隔月開催（予定）

各事業打合せ会　随時（予定）

Ⅳ．構成員

部長	雪吹　誠	（目白大学）	事業総括
副部長	白土男女幸		健康日本 21 推進全国連絡協議会担当 ・FD 推進校表彰制度担当
副部長	中丸信吾	（日本女子体育大学）	スポーツ健康系学科長協議会担当
部員	寺田佳代	（国際基督教大学）	海外関係団体連携担当
	中田賢一	（平成国際大学）	スポーツ健康系学科長協議会担当
	安住文子	（日本大学）	運営委員懇親会・会計担当
	近藤克之	（日本大学）	健康日本 21 推進全国連絡協議会担当
	廣瀬立朗	（桐蔭横浜大学）	海外関係団体連携担当
	高橋和将	（茨城キリスト教大学）	FD 推進校表彰制度

・大学体育優秀教員賞

重城　哲　（日本大学）　スポーツ健康系学科長協議会担当

柴田景子　（目白大学）　スポーツ健康系学科長協議会担当

以　上

令和４（２０２２）年度　将来構想委員会事業報告

Ⅰ．事業報告

（1）70 周年記念事業実行委員会の発足

令和 4 年 2 月 10 日(木)

将来構想委員会メンバーと 70 周年記念誌編集委員会を合同とし、総務部長にオブザーバーとして加入いただいて、記念事業の企画運営を開始。

（2）委員会（70 周年記念事業実行委員会を兼ねる）の開催

第 1 回　令和 4 年 2 月 10 日(木)　10:00-11:00　Zoom 開催

第 2 回　令和 4 年 3 月 15 日(火)　10:00-11:00　Zoom 開催

第 3 回　令和 4 年 4 月 14 日(木)　17:00-18:00　Zoom 開催

第 4 回　令和 4 年 5 月 12 日(木)　18:00-19:00　Zoom 開催

第 5 回　令和 4 年 6 月 21 日(木)　18:00-19:00　Zoom 開催

第 6 回　令和 4 年 8 月 5 日(金)　16:00-17:00　Zoom 開催

第 7 回　令和 4 年 9 月 25 日(日)　メール会議

第 8 回　令和 4 年 10 月 20 日(木)　17：00-18：00　Zoom 会議

第 9 回　令和 4 年 11 月 10 日(木)　16：30-18：00　Zoom 会議

第 10 回　令和 4 年 12 月 6 日(火)～15 日(木)　メール会議

（3）スポーツ庁訪問　期日：4 月 15 日(金)　14:00-14:30

葛西専務理事と村山委員長で企画課企画調整室室長代理古市氏を訪問。スポーツ庁長官に全国研修会記念講演、記念誌への祝辞、式典への出席について依頼。また、スポーツ庁と大体連の連携強化を要望。その結果、スポーツ庁長官より記念誌へ祝辞を頂戴した。記念講演については政策課企画調整室長にお引き受けいただいた。

（4）70 周年記念事業について

1）記念誌の編集　12 月の大学体育発送時に送付

2）記念品作成　ポーチ入り携帯防災グッズ・クリアファイル 2 種類（各 800）

6 月の大学体育発送時に送付　7 月スポーツ健康系学科長会議参加に送付

8 月全国研修会参加者に配布

3）全国研修会における記念講演・パネルディスカッション開催

記念講演：「第 3 期スポーツ基本計画に基づく東京オリ・パラ大会のスポーツ・レガシーの継承・発展について」

講師：日比謙一郎氏（スポーツ庁政策課企画調整室長）

進行：葛西 順一（本連合専務理事）

70 周年記念パネルディスカッション：テーマ：「大体連の研修活動の今後を考える」

①報 告：演題：「10 年間の研修活動を振り返って」講師：北 徹朗　（研修部長）

②パネルディスカッション・全体討論：パネラー：北 徹朗　（研修部長）、蔵満 保幸（北海道支部長）、高瀬武志（桐蔭横浜大学）、進行：村山 光義（将来構想委員長）

4）総会後の記念講演会・祝賀会の準備

1）会場（東京ガーデンパレス）下見および打ち合わせ　令和 4 年 10 月 24 日（月）18：00-20：00　村山、石渡、重城

2）招待状の作成・発送（令和 5 年 1 月 4 日）

（5）将来的検討課題に関する意見交換

Ⅱ．構成員

委員長　村山　光義　（慶應義塾大学）
委員　　石渡　貴之　（立教大学）
委員　　東原　綾子　（慶應義塾大学）
委員　　寺岡　英晋　（慶應義塾大学）
委員　小林　勝法　（文教大学）70 周年記念誌編集
委員　中田　賢一　　70 周年記念誌編集
委員　重城　哲　（日本大学）

以　上

令和４（２０２２）年度　北海道支部事業報告

Ⅰ　研修会事業

（1）北海道支部冬季研修会

1．日　程：2022 年 2 月 24 日（木）
2．場　所：どうぎんカーリングスタジアム（札幌市豊平区月寒東 1 条 9 丁目）
3．内　容：カーリング
4．参加者：牧原・柴田・増山・山口・新井・小林・林・安田・横山
5．講　師：荻原功暉 氏（札幌カーリング協会）

（2）大学体育指導者全国研修会 兼 北海道支部夏季研修会

1．日　程：2022 年 8 月 21 日（日）～24（水）3 泊 4 日
2．場　所：札幌国際大学、他
3．内　容：70 周年記念事業
　　A コース（ゴルフ）
　　B コース（パークゴルフ・カヌー・ラフティング・アドベンチャー）
　　共通研修（カーリング）
4．参加者：蔵満・新井・小林・林・山口・横山（北海道支部のみ記載）

Ⅱ　主な会議

（1）北海道支部総会

1．日　程：2022 年 5 月 13 日（金）
2．場　所：メール会議
3．議　題：令和 3 年度事業報告・決算報告
　　令和 4 年度事業計画・収支予算案
　　令和 4 年度全国研修会について

（2）第 1 回運営委員会

1．日　時：2022 年 6 月 2 日（木）
2．場　所：札幌国際大学（学長室）
3．議　題：令和 4 年度全国研修会について
4．参加者：蔵満・新井・小林・横山・林

（3）第２回運営委員会

1．日　時：2022 年 8 月 4 日（木）
2．場　所：札幌国際大学（学長室）
3．議　題：令和 4 年度全国研修会について
4．参加者：蔵満・新井・小林・林・横山

Ⅲ　その他の事業

（1）大学体育指導者全国研修会の報告書作成の打合せ

１．日　時：2022 年 8 月下旬～９月下旬
２．場　所：メール対応
３．議　題：大学体育指導者全国研修会の報告書作成について
４．参加者：蔵満・新井・小林・林・山口・横山（北海道支部）
　　北（研修部長）、村山（将来構想委員会委員長）

以　上

令和４（２０２２）年度　東北支部事業報告

Ⅰ　研修会事業

（１）冬期研修会

東北支部冬期研修会を下記の通り計画し全国各地から 9 名が参加した。

1）東北支部冬期研修会　「SAJ ナショナルデモに学ぶアルペンスキー」指導者研修会
2）主催　　公益社団法人　大学体育連合東北支部（岩手大学）
3）会期　　令和 4 年 3 月 1 日（火）～3 月 3 日（木）
4）会場　　安比高原スキー場
5）宿泊先　　ホテル安比グランド
　　〒028-7396　岩手県八幡平市安比高原
6）参加者　　9 名
7）講師　　海野義範（元 SAJ ナショナルデモンストレーター）
8）内容　　1）講義　基本を大事にするアルペンスキー指導法、最新のアルペンスキーの技術に関して
　　2）情報交換会：大学におけるスキー実習の取り組みに関して
　　3）実技研修：安比高原スキー場でのアルペンスキー指導実習

Ⅱ　主な会議

支部総会を下記の通り開催した。

日　時　　令和 4 年 12 月 27 日（水）
会　場　　岩手大学　総合教育研究棟（教育系）502 室
議　題　　１）令和 4 年度事業報告
　　２）令和 4 年度決算報告・監査報告
　　３）令和 5 年度事業計画
　　４）令和 5 年度予算案
　　５）その他

Ⅲ　その他の事業

特になし

以　上

令和４（２０２２）年度　関東支部事業報告

Ⅰ　研修会事業

（１）第 1 回　春夏季研修会

１．日程　2022 年（2022 年度）8 月 10 日（水）
２．場所　国士館大学世田谷キャンパス
３．内容　卓球
４．講師　葛西順一氏

（2）第２回　秋冬研修会
１．日程　2022 年（2022 年度）11 月 12 日（土）
２．場所　産業能率大学湘南キャンパス
３．内容　サッカー
４．講師　湘南ベルマーレアカデミーコーチ他
（3）大体連関東支部・慶応大学体育研究所　共催シンポジウム
１．日程　2022 年（2022 年度）12 月 10 日
２．場所　慶応大学日吉キャンパス
３．内容　ニューノーマル時代の体育実技の目的と評価（仮題）
４．講師　東原綾子氏、長谷川望氏、前鼻啓史氏、佐藤豊氏

Ⅱ　主な会議

（1）支部総会　中止
１．日程　令和 4 年（2022 年度）
２．場所　zoom会議
３．議題　新年度事業について
（2）第 1 回運営委員会
１．日時　令和 4 年（2022 年度）3 月 29 日（火）
２．場所　zoom 会議
３．議題　新年度事業について
（3）第 2 回運営委員会
１．日時　令和 4 年（2022 年度）4 月 26 日（火）
２．場所　zoom 会議
３．議題　年度事業について
（4）第 3 回運営委員会
１．日時　令和 4 年（2022 年度）5 月 31 日（火）
２．場所　zoom 会議
３．議題　年度事業について
（5）第 4 回運営委員会
１．日時　令和 4 年（2022 年度）6 月 28 日（火）
２．場所　zoom 会議
３．議題　年度事業について
（6）第 5 回運営委員会
１．日時　令和 4 年（2022 年度）7 月 26 日（火）
２．場所　zoom 会議
３．議題　年度事業について
（7）第 6 回運営委員会
１．日時　令和 4 年（2022 年度）9 月 27 日（火）
２．場所　zoom 会議
３．議題　年度事業について
（8）第 7 回運営委員会
１．日時　令和 4 年（2022 年度）10 月 25 日（火）
２．場所　zoom 会議
３．議題　年度事業について
（9）第 8 回運営委員会
１．日時　令和 4 年（2022 年度）11 月 29 日（火）
２．場所　zoom 会議

３．議題　年度事業について

Ⅲ　その他の事業

特になし

以　上

令和４（２０２２）年度　東海支部事業報告

Ⅰ　研修会事業

なし

Ⅱ　主な会議

（１）第1回支部運営委員会

日時：令和4年7月30日15時～16時40分

場所：zoomで開催

議題

１．令和 5 年度（2023 年度）事業計画案

２．令和 5 年度（2023 年度）収支予算案

３．冬期研修会について

スノースポーツ研修会は見送り，レクレーションスポーツ研修会を 11 月に開催予定

４．令和 5～6 年度（2023～2024 年度）役員

５．その他

１）2024 年度全国研修会

２）運営委員の増員

３）研修会の各県での持ち回り開催を検討

（２）令和 4 年度東海支部総会

日時：令和5年1月を予定

場所：zoomでオンライン開催

Ⅲ　その他の事業

（１）　レクレーションスポーツ研修会

日時：令和4年11月19日（土）

場所：名城大学ナゴヤドーム前キャンパス

講師：木全　克己氏（あま市レクレーション協会会長、元日本福祉大学准教授）

種目：キャッチング・ザ・スティック，スピード・ラダーゲッター，モルック

（２）研究誌の発行

大学保健体育研究：第41号（令和5年3月発行）

以　上

令和４（２０２２）年度　北陸支部事業報告

Ⅰ　研修会事業

（１）第 10 回大学体育スポーツ研究フォーラム（シンポジウム、大体連北陸支部主催企画）

１．日程　令和 4（2022）年 3 月 3 日(木)

２．場所　オンライン（Zoom）

３．内容　「大学体育で使える縄跳び運動」

講師：宮口和義、田口師永

（２）第１回支部研修会

１．日程　令和４（2022）年９月 14 日(水)～15 日（木）

２．場所　能登ゴルフクラブ（実践)、能登ロイヤルホテル（講義）

３．内容　「大学体育におけるゴルフ授業の展開と実践」(実践)

講師：宮口和義、佐伯聡史

「社会が抱える課題を体育・スポーツの科学的観点から考える」(講義)

講師：津田龍佑，村山孝之

（３）公開シンポジウム（北陸スポーツ・体育学会との共同企画）

１．日程　令和４（2022）年 12 月 11 日(日)

２．場所　しいのき迎賓館（対面）

３．内容　「今後の少年スポーツの在り方について」

講師：宮口和義、畝本紗斗子、鈴木貴士、石井孝法

Ⅱ　主な会議

（１）支部総会（メール審議）

１．日程　令和３（2022）年 12 月 24 日（金）～令和４（2022）１月７日（金）

２．場所　メール審議

３．議題

・令和３年度（2021 年度）事業報告、決算報告

・令和４年度（2022 年度）事業計画案、収支予算案

・その他：「第 10 回大学体育スポーツ研究フォーラム」(2021 年３月３日）について

（２）第１回運営委員会（オンライン会議）

１．日時　令和４（2022）年５月 18 日（水）

２．場所　リモート会議

３．議題

・令和４（2022）年度支部研修会

・令和５（2023）年度以降の事業計画（主として研修会）

（３）第２回運営委員会（オンライン会議）

１．日時　令和４（2022）年８月４日(木)

２．場所　オンライン（Zoom）

３．議題

・令和４年度（2022 年度）支部研修会の開催準備

・令和５年度（2023 年度）事業計画、収支予算案

（４）第３回運営委員会（オンライン会議）

１．日時　令和４（2022）年 12 月 22 日(木)

２．場所　オンライン（Zoom）

３．議題

・令和４年度（2022 年度）事業報告、決算報告

・役員改選（R5～R6）

・大学体育教育賞の推薦

・総会の準備

以　上

令和４（２０２２）年度　近畿支部事業報告

Ⅰ　研修会事業

（１）第１研修会

期日：2022 年 11 月 26 日（土）　13:00～14:30
場所：神戸大学国際人間科学部（Zoom 併用）
講師：吉川ヒロ氏
演題：大学体育における LGBTQ

Ⅱ　主な会議

（1）運営会議

第１回
期日：7 月 31 日
場所：遠隔会議

第２回
期日：10 月 27 日
場所：遠隔会議

第３回
期日：11 月 24 日
場所：メール審議

（2）第１回近畿支部総会
期日：11 月 26 日（土）15:30～16:00
場所：神戸大学国際人間科学部　（Zoom 併用）
議題：１）2022 年度事業報告・2022 年度決算報告
２）2023 年度事業計画・2023 年度予算案
３）その他

以　上

令和４（２０２２）年度　中四国支部事業報告

Ⅰ　研修会事業

（1）第 1 回研修会
期日：令和 4 年 6 月 25 日（土）
場所：岡山理科大学
内容：「身体表現と STEAM 教育」
講師：河合史菜
＊新型コロナ感染拡大により中止

（2）第 2 回研修会
期日：令和 5 年 1 月 7 日（土）（予定）
場所：岡山理科大学
内容：大学体育と A&S 教育
講師：西村次郎（岡山理科大学）、河合史菜（岡山理科大学）

Ⅱ　主な会議

（1）第 1 回中四国支部運営会議
期日：令和 4 年 5 月 14 日（土）
場所：岡山理科大学
議題：支部役員報告、活動計画等
＊新型コロナ感染拡大により中止

（2）第 2 回運営会議
期日：令和 4 年 6 月 24 日（金）

場所：岡山理科大学

（３）第１回中四国支部総会（１月に延期予定）

期日：令和５年１月７日（土）

場所：岡山理科大学

議題：１）令和４年度事業報告、令和４年度決算報告について

２）令和５年度事業計画、令和５年度予算案について

３）その他

以　上

令和４（２０２２）年度　九州支部事業報告

Ⅰ　研修会事業

１．春期研修会「体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議」（九州地区大学体育連合との共催）

大会テーマ：「一般体育担当教員に求められるものを整理するーその2ー」

期日：令和4年3月15日（火）～16日（水）

大会形式：Zoomによるオンライン開催

（大会名と同一テーマによるシンポジウムの開催（講師：杉山佳生氏、山田力也氏）、3 演題の一般発表（優秀発表賞の選定含む）、小林勝法氏による特別講演「これからの一般体育担当教員に求められる資質・能力―全国大学体育連合の顕彰制度や研修内容から―」をプログラム内容として、大会テーマについて議論された。）

２．夏期研修会：九州体育・スポーツ学会合同企画　（九州地区大学体育連合との共催）

研修会テーマ：「研究ベースの九州地区大学体育連合 70 年－大学体育の教育成果の再考－」

期日：令和4年8月27日（土）11:10～12:10

開催場所：九州保健福祉大学 F講義棟

講師：橋本公雄氏（九州大学名誉教授・元熊本学園大学）

（橋本氏は、大学体育授業研究をベースとする九州地区大学体育連合のこれまでの歩みを確認するとともに、今後も同連合が、全国大学体育連合九州支部、九州体育・スポーツ学会等とも密に連携・協力して、そうした研究の成果・知見に基づきながら、大学体育授業の必修化の堅持と拡大のための活動を展開していくことの重要性を指摘した。）

Ⅱ　主な会議

①第1回支部運営委員会

日程：令和4年3月15日（火）15:45～17:45

形式：Zoomによるオンライン会議

②支部総会

日程：令和4年3月16日（水）12:00～13:00

形式：Zoomによるオンライン会議

③第2回支部運営委員会

日程：令和4年5月22日（日）13:00～14:30

形式：Zoomによるオンライン会議

④第3回支部運営委員会

日程：令和4年8月28日（日）15:40～17：20

会場：九州保健福祉大学

Ⅲ　その他の事業

１．九州地区大学体育連合機関誌「体育・スポーツ教育研究」第23巻第1号（令和4年12月発刊予定）発刊補助

以　上

令和4年度会員異動一覧　令和4年1月1日～令和4年12月31日

１．新会員

１）大学会員

①尚美学園大学（私立・関東支部）

2）個人会員

①多賀 健（タガ ケン）（個人・北海道支部）

②中川　雅智（ナカガワ　マサトモ）（個人・中四国支部）

③岸本　栄嗣（キシモト　エイジ）（個人・近畿支部）

④武田　丈太郎（タケダ　ジョウタロウ）（個人・北海道支部）

⑤橋高　朱里（ハシタカ　アカリ）（個人・北陸支部）

⑥松元　隆秀（マツモト　タカヒデ）（個人・近畿支部）

⑦菅家　沙由梨（カンケ　サユリ）（個人・関東支部）

⑧白井　祐介（シライ　ユウスケ）（個人・東海支部）

３）賛助会員

①丸菱産業株式会社

②EBSCO Information Services Japan株式会社

③城島印刷株式会社

④一般社団法人全日本フルコンタクト空手コミッション

２．会員種別の変更

①徳山大学（私立・中四国支部）令和４年４月１日：周南公立大学（国公立・中四国支部）

②大阪市立大学（国公立・近畿支部）と大阪府立大学（国公立・近畿支部）統合で大阪公立大学へ

３．退会

1)大学会員

①九州工業大学（国公立・九州支部）

②法政大学（私立・関東支部）

③神戸教育短期大学（短大・近畿支部）

2）個人会員

①小泉　昌幸（個人・関東支部）

②藤田　公和（個人・東海支部）

③須田　和裕（個人・関東支部）

④栗田　昇平（個人・中四国支部）

⑤森井　秀樹（個人・近畿支部）

３）賛助会員

①　株式会社リクルート

4. 会員資格の喪失

①女子栄養短期大学（短大・関東支部）

②　永井 延宏（個人・関東支部）

③　永山　健一（個人・関東支部）

④　松浦　賢太（個人・関東支部）

⑤　山本　直史（個人・中四国支部）

令和３年度をもって退会する会員

①　鹿児島国際大学（私立・九州支部）

② 加藤　恵子（個人・東海支部）

令和４年をもって退会する会員

① 常行　泰子（個人・中四国支部）

会員数（令和４年１２月３１日現在）

		前年12月31日
国公立大学	54	55
私立大学	196	198
短 期 大 学	22	24
個　　人	102	104
計	374	381

賛助会員	21	18

以上